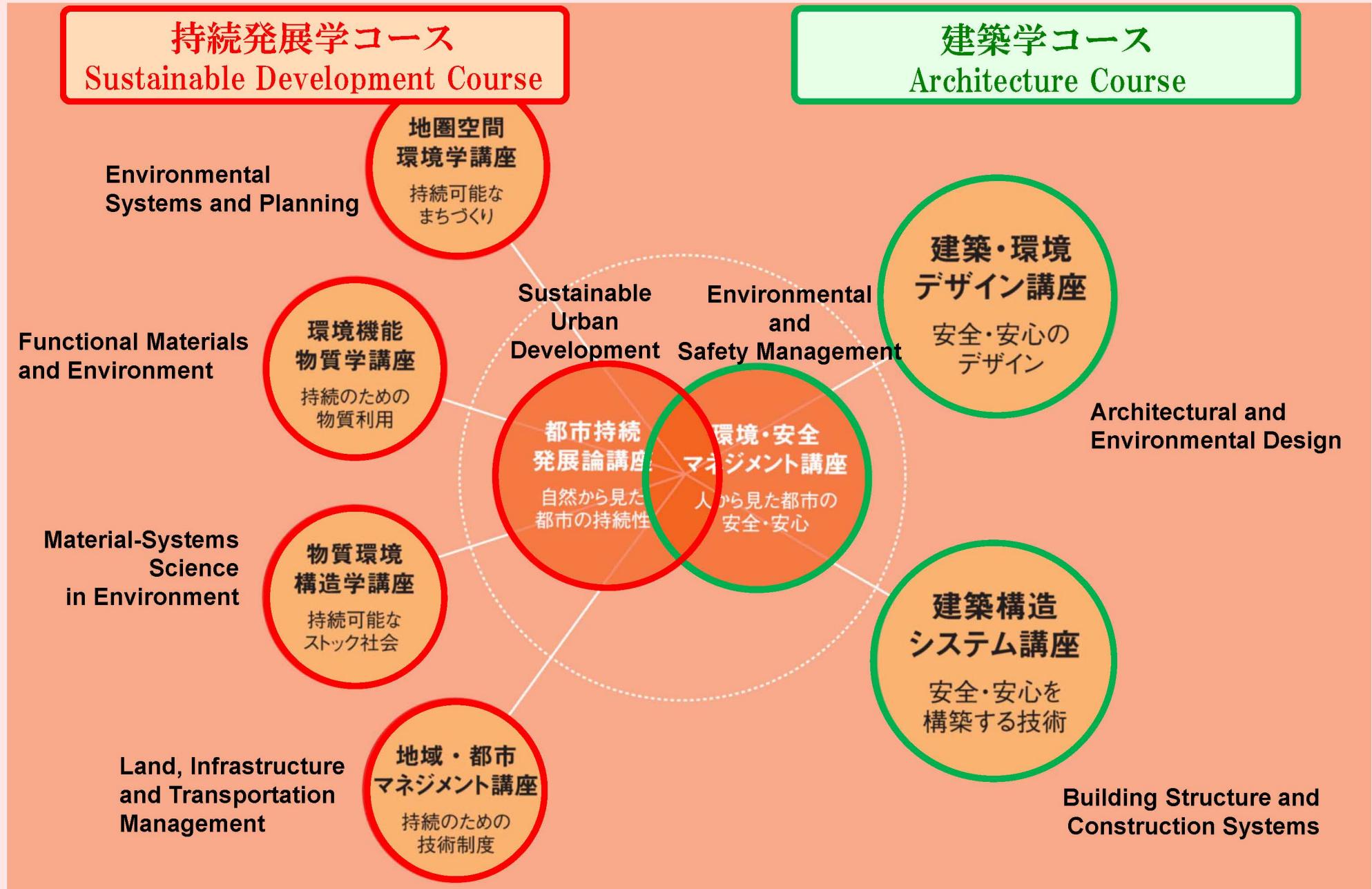


都市環境学専攻



Department of Environmental Engineering and Architecture

未来のモビリティとまちとくらし方

Future Mobility, City and Lifestyle

森川高行 教授 Prof. Takayuki Morikawa



自動運転車のサービス
実験



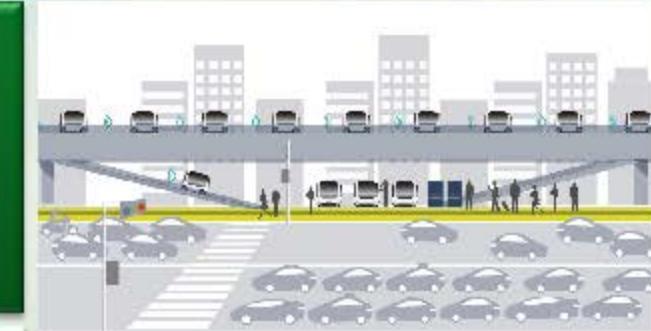
世界初の都市交通政策PDS

主な研究内容

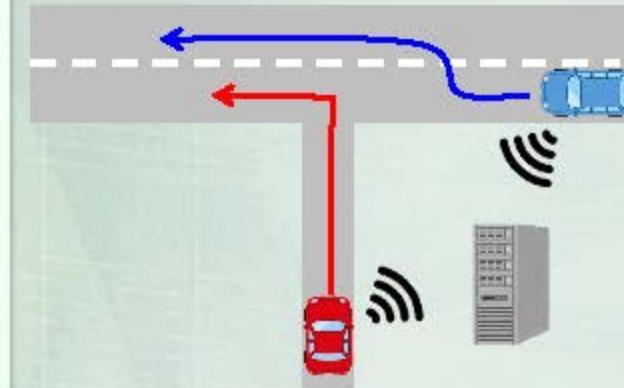
- 交通行動の分析とモデリング
- 交通需要予測と交通政策の評価
- ITS（高度道路交通システム）
- 次世代モビリティとまちづくり

最近の主な研究テーマ

- ・ 交通不便地域におけるモビリティサービスの構築
- ・ 自動運転を活用したモビリティサービス
- ・ 「乗合」と「乗り換え」の要らない夢の中量輸送システムPRT
- ・ 自動運転時代の都市の姿
- ・ 自動運転の社会的受容性
- ・ 自動運転時代での「信号の無い道路」
- ・ リアル空間活動とオンライン活動の差異
- ・ モビリティサービス提供によるwell-beingの変化
- ・ 世界初の都心部自動車流入抑制策「駐車デボジットシステム(PDS)」



夢の中量輸送システム
PRT (Personal Rapid
Transit)



信号機の要らない交差点

マルチモーダルな交通空間の創出

都市環境学専攻 地域・都市マネジメント講座

歩行者や、歩行者と混在するモビリティが安全・円滑・快適に移動できるための道路交通空間のあり方について研究しています。

安全性

- 歩行者が安全に横断できるための道路構造や自動車挙動（自動運転車含む）の要件分析



バーチャルリアリティ環境での歩行者横断実験



快適性

- 滞留者と混在する歩行者の歩きやすさ評価指標の検討
- 多様な機能を充足する道路空間の計画・設計

円滑性

- 車と歩行者両方を考慮した交通円滑性分析
- 交通信号制御の改良・高度化

新しいモビリティとの共存

- 自動運転や一人乗り小型モビリティ（電動キックボード等）に対するリスク評価（歩行者の主観的リスクと衝突回避の客観的安全性の両面から分析）
- 新しいモビリティを導入することへの社会的受容性の検討



准教授 井料 美帆
Associate Professor
Miho IRYO





ストック型社会・環境システム領域

白木研究室 (Shiraki Lab.)



白木 裕斗 (SHIRAKI Hiroto)

- ◆ 東京大学大学院修了 (博士(環境学))
- ◆ 国立環境研究所 (2014.4~2016.9)
- ◆ 滋賀県立大学 (2016.10~2023.3)
- ◆ 名古屋大学 (2023.4~)
- ◆ 専門: エネルギーシステム学

研究テーマ

- ◆ 数理モデルを用いた世界・国・自治体規模の長期エネルギーシステム分析
- ◆ 国を対象にしたエネルギーシステムモデルの入出力情報に関するメタ分析
- ◆ 日本の過去のCO₂排出量の要因分析
- ◆ 統計手法を用いたミクロスケールのエネルギー需要行動分析

所属学会

エネルギー・資源学会、土木学会

アクセス : 環境総合館5階507号室

WEBサイト : <http://sd.urban.env.nagoya-u.ac.jp/shiraki/>

